

お釈迦様の生き方とは？

福島伸悦

新型コロナウイルス感染が拡大して世の中は大変な状況になってしまいました。ワクチン接種がいきわたるようになり、感染者数も徐々に減少し、緊急事態宣言も解除されました。しかしまだまだ予断が許されません。一人一人が、感染しない、感染させないという強い思いをもって、これからもマスク着用、手洗い、密を避けるようにしていかなければと思っています。

さて、お釈迦様が今の時代に生きておられたら、どういう生き方が正しいとおっしゃるのでしょうか？ 教えを紐解いてみると答えは明らかです。「人間、一人ひとりの思いや、はからいを超えて、大自然の法則に従った生き方をしなさい」ということだと思います。つまり、「この世は無常である」ということを出発点として、私どもの生き方を考えるということです。

それでは「無常」とは何でしょうか？ 「我々一人一人が、やがて死んでいく存在である。」ということに気づくことです。「無常」の世の中を「無常」のままに生きていくのが仏様。凡夫の私どもは、「無常」の世の中を「無常」でないと考えて生きているのです。私自身もそうですが、理屈ではわかっているけど「当分は死なないだろう」と思っています。でも、実際はどうなるかわかりません。自然災害、交通事故など思いもよらないことが起きるのが現実です。そして、この度のコロナウイルスに感染して亡くなる方もいらっしゃいます。ウイルスも生き延びるために変異していきます。これも自然界の無常のありさまです。

ところで、「無常」というのは、何も死ぬことばかりではありません。生まれてくるのも「無常」の一コマです。ですから、私たちは、生まれてから今日まで「今」という瞬間の連続の中で生きて来たということです。本来、そこには思いや、はからいという概念に関係なく時は流れているのです。このことに気づくと、「今」という瞬間がいかに大切なのか理解できます。

お釈迦様は「やがて死すべきものの今命あるは有難し」という言葉を残されていますが、充実した後悔のない人生を送るためには「今」を精一杯生きることだと思います。